

令和4年8月31日

記者発表

Twitterの広告を利用した薬物乱用防止啓発を実施します

大麻の検挙者数が全国で5年連続過去最多を更新しています。そのうち30歳未満の割合が全体の約7割を占め、和歌山県でも30歳未満を中心に大麻の検挙者数が増加しています。また、危険ドラッグについても、「知事監視製品」として指定し規制しているところです。それらの薬物の情報源や入手方法としてネット経由が高い割合を占めることから、令和4年9月1日よりTwitterで薬物に関する言葉を検索した県内在住者に対して、画面上に警告メッセージを表示することで注意喚起を行います。

●令和3年の大麻検挙者数

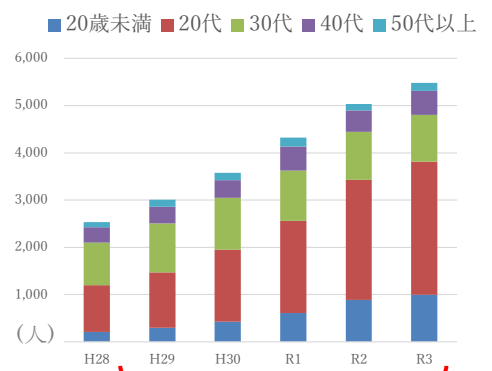
全 国 5,482人 (30歳未満 3,817人 69.6%)
和歌山県 66人 (30歳未満 54人 81.8%)

○大麻検挙者が大麻の入手先を知った方法

友人や知人を介して：36.2% **SNS：27.7%**

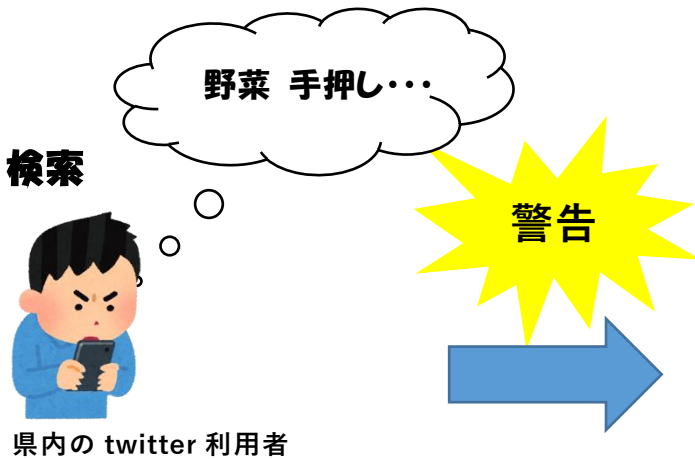
※出典：警察庁及び和歌山県警察公表値（一部加工）

〈全国〉



5年連続過去最多

●注意喚起の内容（大麻の例）



〈薬物に関する言葉〉

- ・大麻に関する隠語：野菜、クサ、ハッピー 等
- ・危険ドラッグに関する語句：合法ハーブ、合法アロマ 等
- ・薬物の売買に関する隠語：手押し 等



担当者 薬務課 榎本,土谷

連絡先 073-441-2663